


未来創造 進捗発表会 (3)

1922074 木村太紀



1.研究概要

「Interactive Presentation & Sharing プラットフォームの実現」 研究・活動内容掲載プラットフォーム

今現在自らの研究や活動内容を外部に発表する手段は、学会などを除いて機会が限られている現状がある。

それにおいて、この研究にて作る事を予定しているWebアプリを用いる事で画一された個人発表の機会を提供し、ポートフォリオサイトなどのセンスによる研究内容に関係の無い要素を除外する事が出来る。

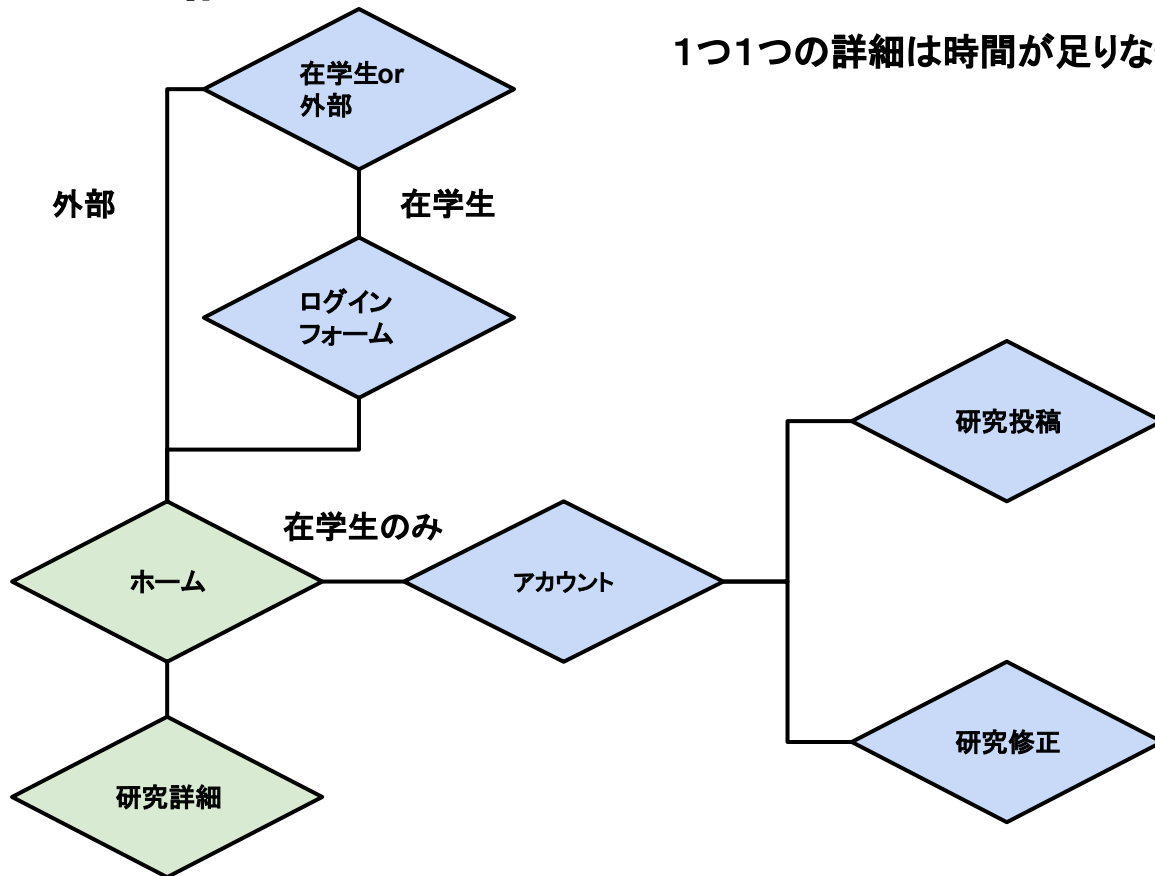
また、これらは武蔵野大学データサイエンス学部だけでなく、それ以外の他学部や他大学の研究発表機会に適用出来る可能性がある。

2.研究の流れ

- 1.大まかなアプリ構造を決定
- 2.快適な発表環境に必要な機能の考察と調査
- 3.必要な機能に関する学習 / 仮環境での開発←←←(現段階)
- 4.実装環境の決定 / 仮環境での開発
- 5.デバッグと実際の使用に関するフィードバック収集
- 6.実際の環境に実装 / 当アプリの発表手段に関する考察

3.大まかなアプリ構造

1つ1つの詳細は時間が足りなさそうなので省略



4.必要な機能の考察と調査

・マークダウンエディタ(qiita等)

誰でもすぐに習得可能であり、スクリプト等の掲載にも向いている。
エディタの設定は、統一された発表環境という目標に適っている。

・WebGL(unity等)

3Dコンテンツを研究内容として制作している場合が多い為、実際に動作可能な環境を用意する。

・タグ機能(qiita、tumblr等)

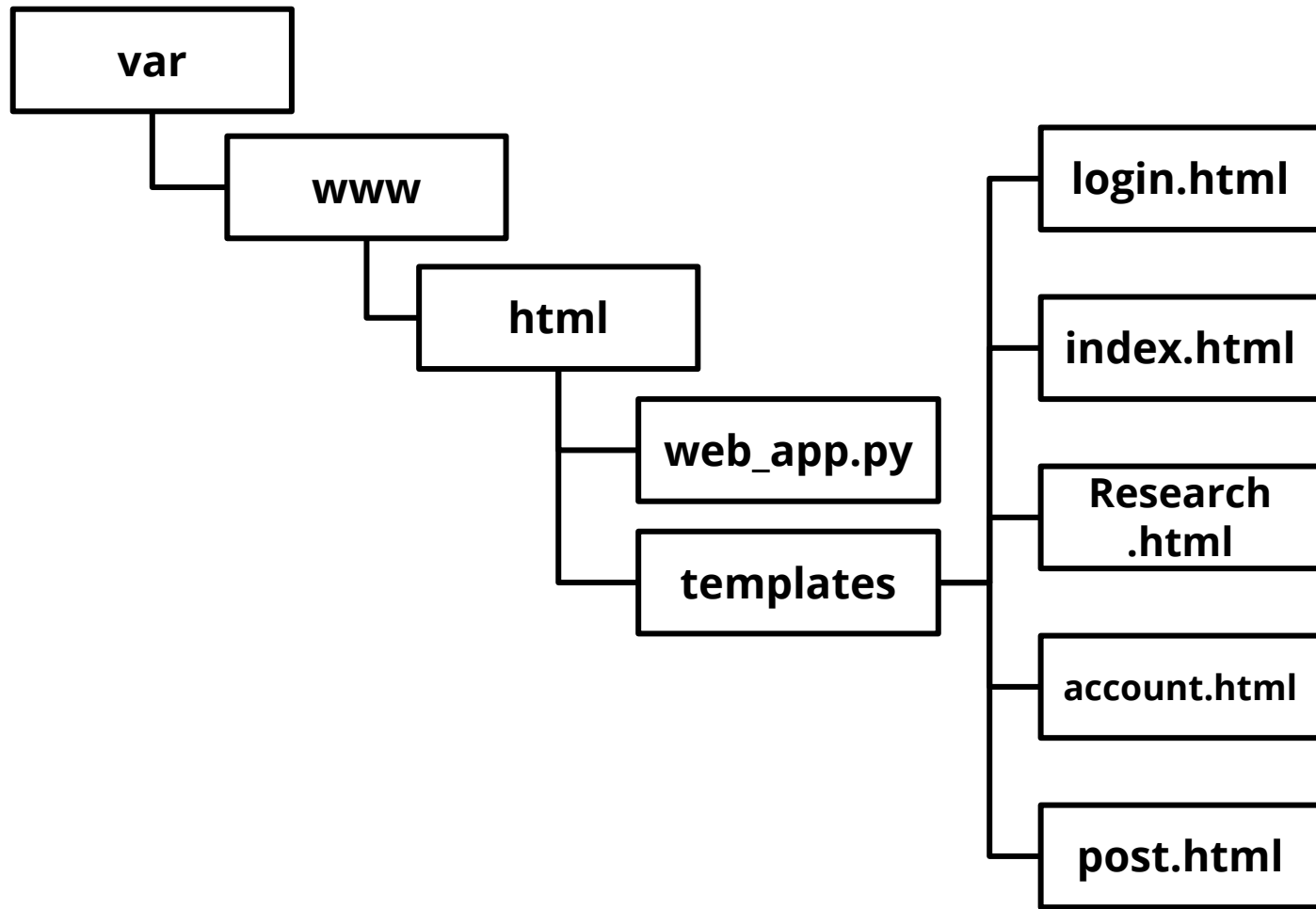
事前にタグを用意し、自らの研究に設定させる事で、より円滑な研究の検索が可能。

・諸SNSとの連携

とりあえずはリンクをアイコンで載せるぐらいのもので

5.現開発環境

- ・サーバ:AWS Linux AMI、t2 micro
- ・サーバソフトウェア:Apache
- ・フレームワーク:Flask Python
- ・フロントエンド:HTML、CSS、javascript、(必要ならPHP)
- ・DB管理:MySQL、phpMyAdmin





6. 今後について

1. WebGLの使い方がまだよく分かっていない

2. セキュリティ関係もどこまでやれば良いか見当がつかない

IP制限・鍵認証、SSL化してSQLインジェクションとかの対策は勉強したhttpポートとかは後々閉める予定

3. 最終的なレイアウトイメージを作成する

4. MySQLとVS Codeの連携が上手くいかない

今後の流れとして、フロントエンド整備とバックエンドの流れを作成しながら、上記の事をこなしていく。